

# 不登校対応入院プログラム キャンプせんだんとぼくのあした

ここは  
仙台市の  
丘の上

学校に行けなくなつた  
子ども（主に中学生）の  
援助をしている入院施設です。



漫画 ぬまじりよしみ

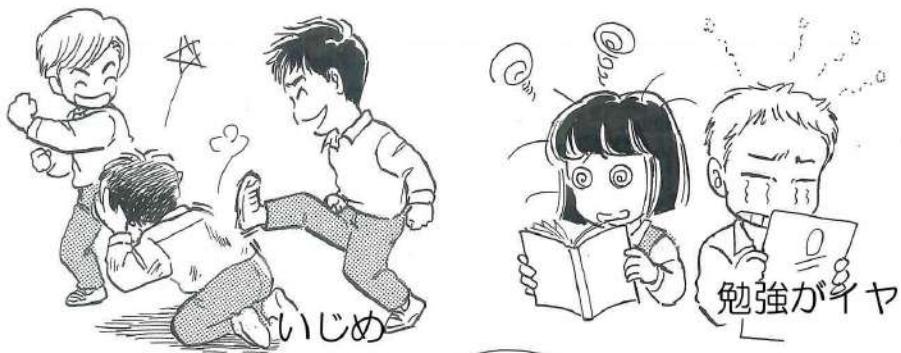
監修 東北福祉大学せんだんホスピタル  
児童思春期病棟



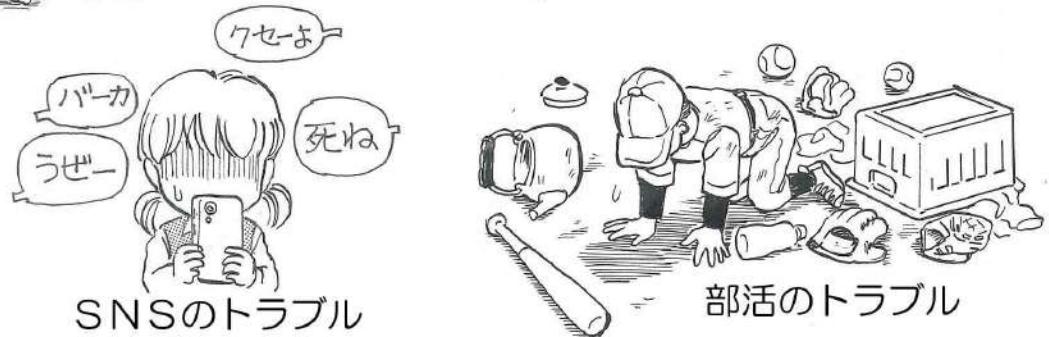
学校に行けない子どもたちは  
様々な身体症状を訴えます



学校が嫌な  
理由はそれぞれ

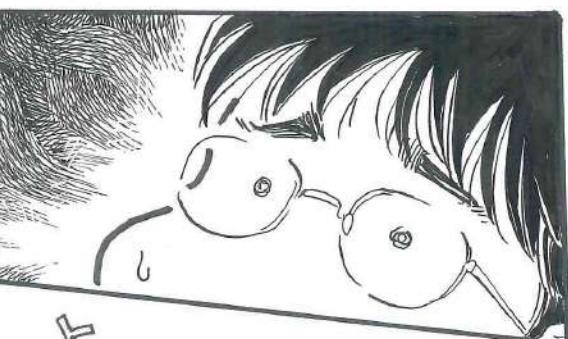


おいそれとは  
他人に言えない  
悩みもあります



子どもへの  
過度な期待  
経済的な問題  
家庭の中での  
心配ごと  
等々  
子どもが置かれた  
環境は千差万別ですが  
共通するのは  
「不安」です

家庭の状況も  
それぞれです







病室は基本

4人部屋

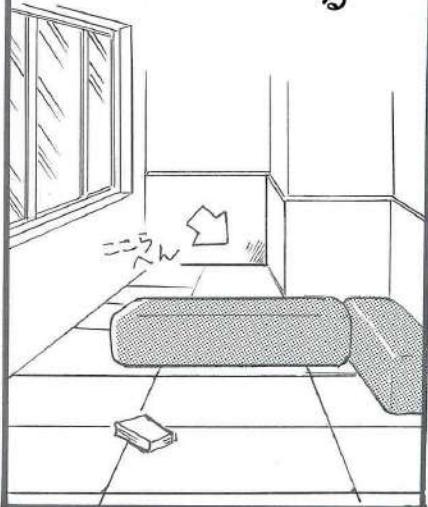
様子をみて  
部屋替えする  
こともあります

広い食堂  
兼ホール

テレビは  
ここで  
見られます

マット敷きで  
ゴロゴロできる  
くつろぎの場

いい具合の  
すみっこも  
あります



初めての  
集団生活に  
最初はみんな  
緊張しますが  
「学校に行けないのは  
自分だけではない」  
ちょっと安心するようです



携帯電話（スマホ）は  
病棟内には  
持ち込めません

SNSを気にせず  
ゲームからも離れて  
しばし戦士の休息

夜はぐっすり  
眠つて下さい

朝食は7時半です

おはよう  
ございまーす

明日  
明るくなつたら  
考えてみようよ

今夜は  
ゆっくり  
寝て

おやすみ

どこか  
具合悪い?

ない?  
——眠れ

ここは  
病院なので

夜間は一時間毎に  
看護師が  
巡回します

色々  
考えちゃう?

でも夜中に  
考えごとしても  
悪いことしか  
浮かばないし

その時は  
相談に  
乗るから

「朝起きてこない」と

嘆かれていた

子どもも

意外や

すんなり

起きてくるようです

。



9時半になると

院内学級が

始まります

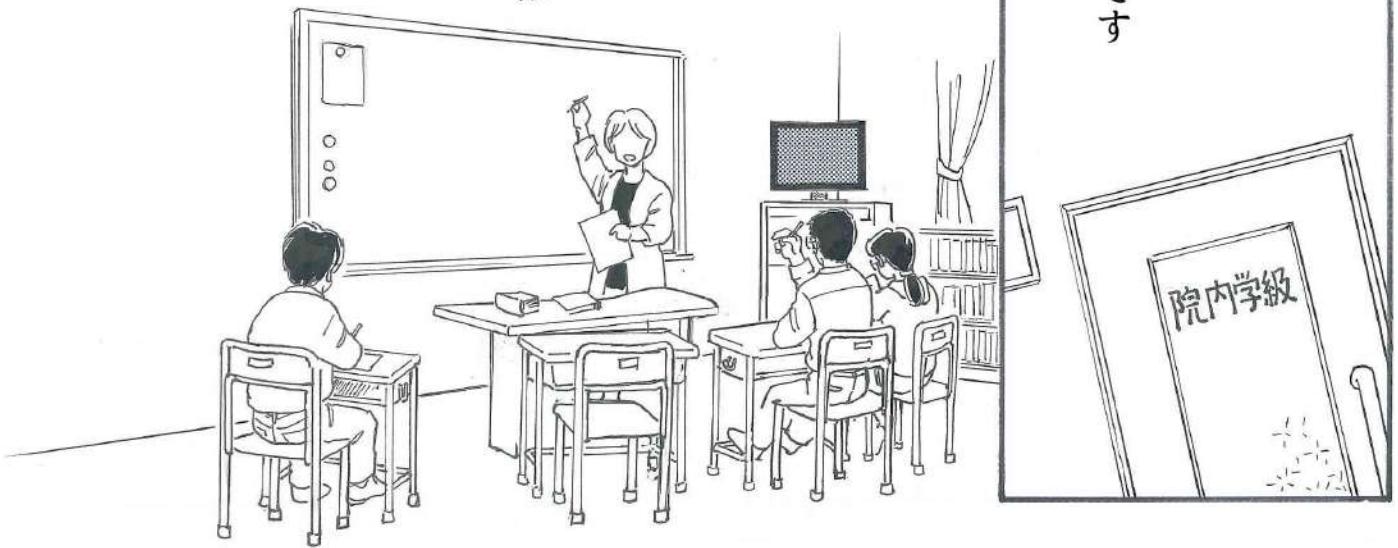


ここは  
公立中学校の  
分教室

院内学級の併設

これが  
この病棟の特色です

この学級への通学は  
出席として  
認められます



そういう場を作っています



病棟でスタッフが  
様々なプログラムを  
用意しています



院内学級への転校手続きや  
元いた中学校との調整は  
専任の  
精神保健福祉士が担当します

季節の行事  
調理  
畠仕事や  
季節の行事



これらのプログラムも  
参加は自由です



例えば

こんな親がいます

※極端な例です

何もかも  
先回りして  
指示するので  
子どもは  
自分では何も  
選べなくなる

A black and white manga-style illustration of a woman with curly hair and glasses. She is holding a book titled "東京大学完全攻略問題". Several speech bubbles are around her, containing the following text:

- あなたは 勉強だけ してれば いいのつ
- これ着て
- あそこ 受けて
- あれ 習つて
- これ 読んで

色々な作業に  
チャレンジして  
楽しみや  
得意をみつける  
自信をつける

自分が向いているのか  
何をしたいのか  
自分で選ぶ力を  
育てたいのです



# 公務員

将来の職業について  
聞いてみると：

一方で  
医師は  
親との面談を  
重ねます

早く治して  
下さい

早く治して  
下さい

このまま  
学校も塾も  
行けなかつたら  
受験は  
どうなるの？

一方で  
医師は  
親との面談を  
重ねます

「その子なりの生き方を考えること  
が出来るよう話し合います

親も冷静になつて

そんな  
ヤバい薬は  
ありません

シャツクリして  
学校に戻れる  
お薬とか

具合悪い?  
どつか  
どした?



何か困つて  
ことがあれば  
話したいことが  
あれば話してね  
聞くよ

みんな  
君の味方だよ

別に…

別に…



子どもたちは  
病棟で様々な  
スキルを持った  
大人と出会い  
真剣に関わる  
これも入院の  
大きなメリットです



短時間の  
外来診療では  
生活全般への介入には  
限りがあります

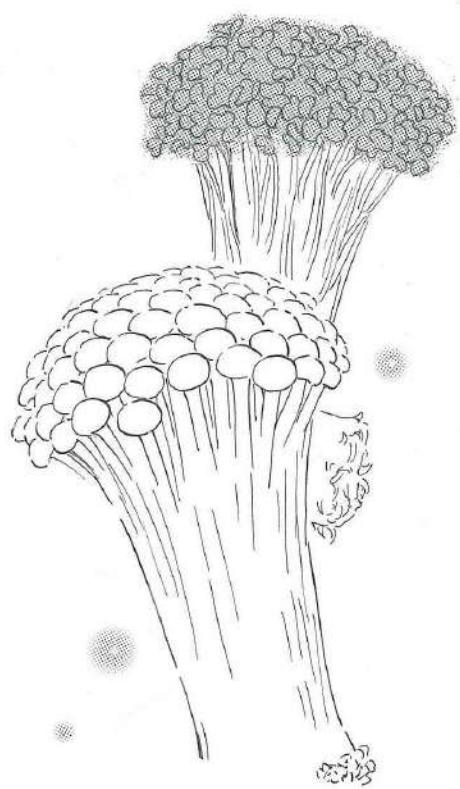


見守りのある  
環境の中で  
安心して  
心を開き  
病棟生活  
院内学級を通じ  
人間関係を学び  
一人一人が  
自分の目標を  
探していきます



子どもに  
何が必要かを検討し  
子どもの育ちを助けます

子どもを育てるのは大変です



子どもは  
カイワレやえのき茸では  
ないのですから  
みんなそろつて  
同じ丈に伸びていくことは  
ありません

今は  
へたって  
息切れしていくも

しつかり眠り  
しつかり食べる

規則正しい  
生活で体力を  
つける

作業療法や  
イベントで  
手や身体を使う  
楽しみに気づく

スタッフや  
入院仲間との  
交流を重ねて

人間関係の  
経験値を  
上げる

学校に行けないこと  
で失っていた

自信を取り戻して  
いきます



子どもは本来  
育つ力を  
持っています

そして少しずつ  
自分にできることを  
考えるようになります



ところで

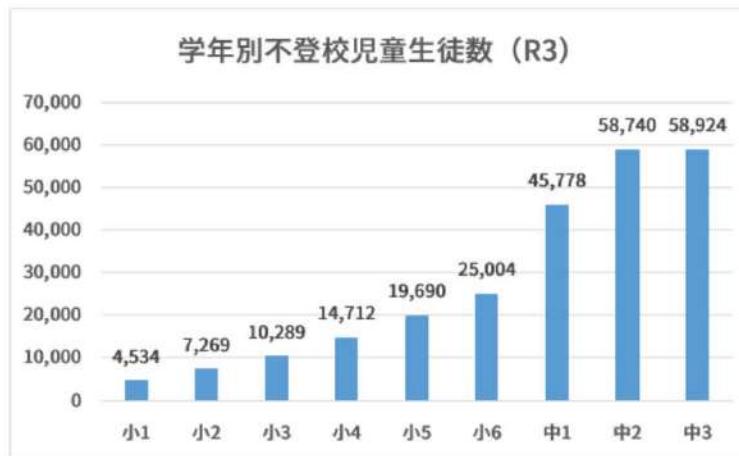
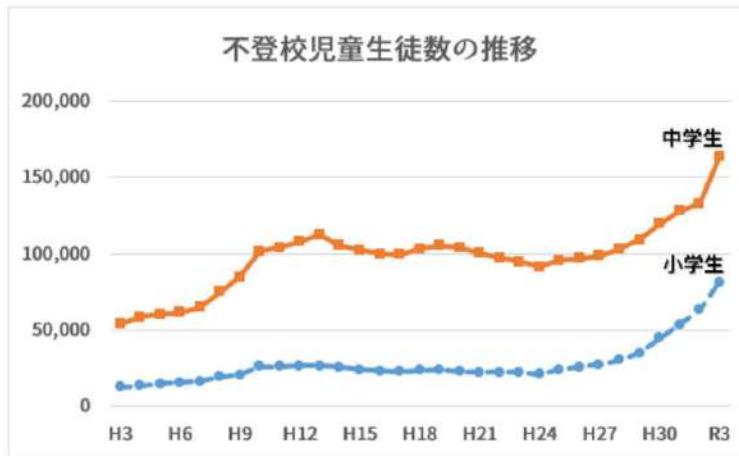
中学校卒業後の  
進路はさまざまです

子ども本人や周囲が  
子ども自身の

性格や特徴に気づくことは  
進路を考える際に  
とても重要です



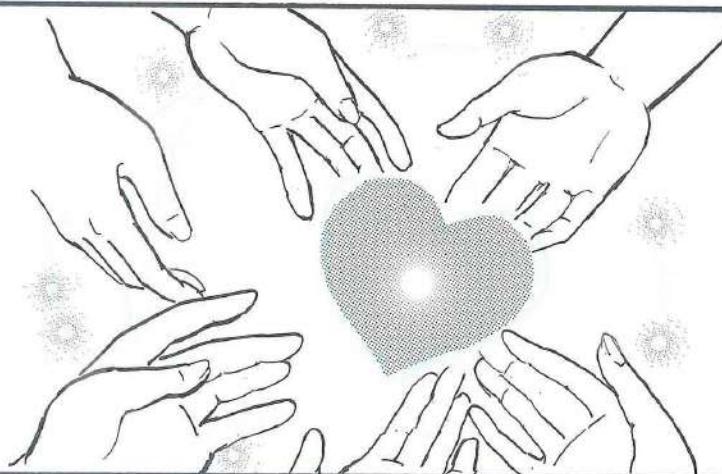
たくさんの  
家庭が悩んでいます



「不登校」は  
小学生で約8万人  
中学生で約16万人

【出典・引用元】  
文部科学省  
初等中等教育局児童生徒課  
「児童生徒の問題行動・不登校等  
生徒指導上の諸課題に関する  
調査結果について」  
調査期間：  
平成3年度(1991)～令和3年度(2021)

サポートをする  
育ちと学びの  
合わせた  
成長のテンポに  
ひとりひとりの  
思春期のうちに



それが  
キャンプせんだんです

だから

「ありのまま」で

「そのまま」で

来て下さい



おしまい

「キャンプせんだん」のお問い合わせ先  
東北福祉大学せんだんホスピタル  
地域医療連携室 TEL：022-303-0181  
(受付：月～金曜日 9:00～16:00)